

A-124 高压濾紙電気泳動法等による vitamin B₆ 群の分離定量について (第一報)
武庫川女大家政 ○寺田雅子 新田佳美

目的 vitamin B₆ 群の分離定量法として 理化学法, 微生物法などが提唱されているが 何れも特異性と感度の点で十分な解決をみていない。
そこで今回は vitamin B₆ のあるものを基質にし酵素反応をおこない vitamin B₆ 群間の变化について検討する様な場合を想定して それらの分離定量を試みた。

方法 vitamin B₆ 群の混合液を 主として高压濾紙電気泳動法 (緩衝液 pH 3.6, 3kV 30分泳動) にて各成分を分離し 濾紙を風乾後 0.1N-HCl で抽出する。抽出液の紫外部吸収を測定して定量する。

結果 PIN, PIN-P, PAL, PAL-P, PAM, PAM-P の 6 者を同時電気泳動した場合, PIN と PIN-P の両者間の分離に難があるが 他は良好に分離した。
風乾, 抽出後の回収率は PAL を除いて比較的高く 本法による定量が可能である。
PAL は定圧濾紙電気泳動法にて混合液から分離し 風乾, 抽出後 Ethanolamine を添加して定量を試みた結果 かなりの再現性を得た。